

報道関係者各位
2026年9月1日

住友生命が「防災の日」に地域防災へ貢献、 都内3カ所の消火栓標識に協賛看板を設置

消火栓標識株式会社（所在地：東京都中央区／代表取締役：毛利 綱作）は9月1日の「防災の日」に、住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳）の協賛看板を、東京ミッドタウン周辺の消火栓標識に設置しました。看板利用料は消火栓標識の維持管理費に充てられるため、協賛そのものが地域の防災インフラを支える社会貢献となります。



■消火栓標識とは

「消火栓標識」とは、火災の際に速やかに水を供給できるよう、地下にある「消火栓」の位置を示す標識です。消火栓標識は全国に約12万本あり、主に民間企業によって維持管理され、その費用は「赤い円形の表示板」の下にある横長の協賛枠による看板利用料で賄われています。

消火栓標識の設置と適切な管理が進めば地域防災に役立ちますが、協賛枠の存在自体の認知度が低く、利用が進んでいません（東京都内では約80%が未利用）。現在は各企業の努力でなんとか維持管理ができていますが、将来的に管理が難しくなる可能性があります。



